

教科「芸術」

科目「芸術探究（書道）」

（3年次）

単位数	2単位
担当者	森谷 美和
教科書	自作テキスト
副教材等	学習プリント、作品手本等

【1】科目の目標

- ・書道における表現と鑑賞の創造的な活動を通して、書を愛好する心情を育てる。
- ・書に親しむ活動を通して感性を高め、書の文化や伝統についての理解を深める。
- ・様々な場面に対応できる書写能力を育てながら、主体的に自己を表現する能力を高める。

【2】科目の内容と進め方

1学期：漢字の書の臨書（楷書・行書）、2学期：漢字の書の臨書（行書）、漢字仮名交じりの書の創作 3学期：仮名の書の臨書

【3】学習形態

書道室で授業を行う。作品の制作を行いながら、作品の背景について一斉、グループで学習を行う。

【4】学習上の留意点

「漢字の書・仮名の書」では、自らの興味、学習する古典を選択し、それらの古典の書風や、用筆法・運筆法などの特徴を把握すること。また多角的に古典を分析し、その書風の特徴を生かした創造的な表現を工夫する。「漢字仮名交じりの書」では、身近にある題材や自らの思いや感動を表す語句を選び、芸術的な表現を高めるとともに、実用的な表現形式にもその技法や知識を生かす。

【5】評価の方法と評価の観点

① 評価の観点

- 1 書への関心・意欲・態度： 書道の創造的な諸活動を通して、生涯にわたり書を愛好する心情や、書の伝統と文化を尊重する態度を身につけられたか。
- 2 書表現の構想と工夫： 感性を磨ぎ、創造性豊かな表現の工夫ができたか。確かな書の表現と技法を習得し、それを生かしてより自由で個性的な書の表現ができたか。
- 3 創造的な書表現の技能： 自己の感興や意図を実現するため構想を具現化し、主体的に個性的・創造的な表現ができたか。
- 4 鑑賞の能力： 鑑賞や所論の購読などの活動を通して、書の伝統と文化について理解できたか。書を生活や諸文化とのかかわりについて理解できたか。

② 評価の方法

- ・授業での学習活動の様子、作品への取り組み状況から、主体的に学習しようとする態度を評価する。
- ・毎時間評価シートで学習の振り返りを行うことで、次時への取り組みにつなげられるかを評価する。
- ・作品の添削を通して、技能を身につけられたかを評価する。

【6】その他 なし